

令和6年度児童発達支援さくらんぼ事業所自己評価シート

保護者、職員に下記の内容でアンケートを実施し、その結果を事業所内で評価を抽出し、分析、改善への取り組みを考察しました。

【アンケート調査の概要】

【保護者、職員共通項目】

- 1 サービス提供時の環境面について
- 2 児童への支援内容について

【保護者向け項目】

- 1 関係機関との連携について
- 2 保護者への説明責任・信頼関係について
- 3 非常時の対応について
- 4 満足度について

【職員向け項目】

- 1 適切な支援の提供について
- 2 関係機関や保護者との連携について
- 3 保護者への説明について
- 4 リスク管理について

*評価の抽出は別紙をご参照下さい。

アンケートの考察

・構造化について

→構造化としてさくらんぼでは、お子様が自ら考え、何をどのように行動していけばよいのか見通しをたてられるように、視覚的に理解できる予定の流れをしめした「予定ボード」、お仕度の流れがわかる「お仕度ボード」を制作し、お子様の特性に合わせて、提示する順番や工程の工夫、お約束ボード、活動を行う上で刺激となる物は収納するなどの環境設定を実施している。職員へ構造化の研修も行い、身近に存在する事も構造化であり、そのこと自体が保護者にとって認識しにくい状況であることが分かったため、「構造化とは？」のシートを作成した後に、さくらんぼでの構造化への取り組みをホームページへ掲載していきたい。

・バリアフリー化、衛生管理への配慮

→バリアフリーは対応箇所を表にして、ホームページへ掲載し周知する。
懇談会などでさくらんぼの活動報告の一環として伝えていく。

・活動の充実

→おもちゃのマンネリ化は起きている。寄付を募り、改善を図る。
食育の希望が出ているが、食物を育てる、調理をするのは、リスクが高く、現状は難しい。
食育とは何か？育てる、作る以外で取り入れていく。

・共通理解について

→保護者の方に共通理解について認識していただけるよう、事業所として、朝のミーティングでの支援内容の確認、保護者の方からの情報、連絡帳から得られた児童の様子、当日の活動内容や活動目的の共有を行っている事、また、職員が気づいた点や保護者の方からの伝達を常勤に報告している事、月一回の支援改善会議で再度共有、共通理解につながるように行っている事を伝えていく。

・地域に開かれた事業運営

→地域との行事参加については、保護者の意向もあるので、丁寧に対応する。

地域の方に事業を伝えていく点では、掲示板を活用する取り組みを検討する。

・ホームページの見直し

→ホームページの充実は急務。ほとんどの方がスマホで検索していると思われるので、小さな画面で見てもわかりやすいように。

評価アンケートを全て載せており、ある意味口コミのような内容だから、見てほしい。

『通われている保護者様の声』に変更する。

・活動の予定の発信

→活動の年間予定表をアプリの掲示板に掲載する。

・緊急時のマニュアル周知

→171 伝言ダイヤルの体験練習を定期的に行う。

分析・検討してみて…

事業所の強み

- ・支援前のミーティング、ミーティングファイルの活用で、支援前の情報共有、支援後の振り返り気付き、リスク、改善点を共有し、支援に反映させている。支援会議も含めて、職員の支援上の悩みなども共有し、職員が一人で抱え込まない環境に配慮している。
- ・毎月の虐待防止身体拘束会議、感染症対策会議を開催している。虐待予防の取り組みとして、支援者として、支援した事、支援者として考えた事、学んだ支援を一人1つは発表している。
- ・児童が楽しめて、飽きる事のない活動プログラムを提供している。
- ・連絡帳の保護者のコメント（共感、愚痴、育児の悩み相談）に対して、全て返答している。

事業所の改善点

- ・情報発信が弱い。
- ・ホームページをうまく活用出来ていない。
- ・構造化に対してまだ、取り組みが浅い。
- ・地域に開かれた事業運営が弱い。
- ・保護者向けの研修が開催できていない。
- ・保護者同士をつなぐ場の提供ができていない。
- ・園と交流する機会が少ない。

事業所の改善への取り組み

- ・相談窓口を随時受け付けているが、わかりやすいアナウンスをする。
- ・地域に開かれて事業運営として、掲示板を活用し、事業所の紹介をする。
- ・懇談会を開催し、バリアフリー、衛生管理などが事業報告をするとともに、保護者同士が繋がる。場を提供していく。
- ・保護者様にとって、職員全体に専門性を感じていただけるように研修、指導を行っていく。
- ・災害時への取り組みとして、171 伝言ダイヤルの定期練習を行う。
- ・サービスを提供する前に、支援ついてしっかり把握した上で行えるように、朝のミーティングの充実を図る。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

- ・人員が充実している状況ではないが、職員が孤立せずに、不安になる事のないように配慮していく。
- ・職員のアンケート結果より職場内の人間関係は良好であると思う、風通しの良い環境に気を付けていきたい。

事業所名 さくらんぼ
担当者 吉田 優美